



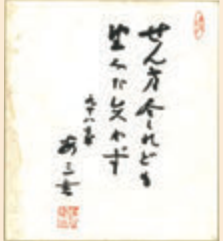
合唱物語

石ころの生涯



2022年11月12日(土) 17:00 開演
桜美林学園 荊冠堂チャペル

主催 100周年記念事業実行委員会 企画・制作 桜美林大学 芸術文化学群



👤 GREETINGS

100年後にも美しい桜を咲かせるために

時計、分針、秒針が一刻一刻と時を刻むに連れて、過去から未来へと時が移って行きます。ともすれば時間の経過は過去の出来事や思い出を風化させてしまいます。我が桜美林学園は1921年に中国北京市の朝陽門外に小さな学校としての産声を上げました。東京に移植された桜の苗木が風雪に耐えて2021年に100年目の桜を見事に咲かせました。本日、2022年11月12日には、すべてのオペリンナーが一堂に会して満開の桜の園に老いも若きも集って、春の桜に勝るとも劣らない秋の桜を満喫できることは、桜美林というその名の如く、卒業生と在学生が一年365日美しい桜の林を大切に守り続けたからです。創立100周年のために能祖将夫教授が書き下ろしてくださった素晴らしい脚本による『合唱物語 石ころの生涯』が、記念すべきこの日に公演されることになり、この大イベントにさらに美しい花が添えられたことに、この上ない喜びを感じます。

我が桜の園の父である清水安三先生もこの公演に「お陰さんで、わしも参加させてもらいました」と天国からお喜びのメッセージを送ってくださっていると思います。果たして安三先生は、来る2121年に迎える創立200周年を祝う日のことを、神様にとの様に祈っておられるのでしょうか？ 私たちはその神様への祈りを実現させるべく、次の100年に向けて、今日からすべてのオペリンナーが共に手を取り合って、永久不滅の桜美林を築いて行くことはありませんか。



小池一夫
桜美林学園 理事長

オペリン・ドリーマー

人は大人になるにつれて、夢のとらえ方が三つに分かれるように思えます。夢は捨てるもの、夢は見るもの、夢は生きるもの。清水安三先生は、この三つ目の生き方を生涯貫いた方ではなかったでしょうか。もう、夢に生き、夢を形にしていって無我夢中のドリーマー。

この生き方、誰かに似ていると気がつきました。常識外れの夢を追ったところ。貧しい人、弱い人のために我が身を投じたところ。宗教に生かされ、教育に生きたところ。飾らぬところ。そう言えば、その人も石に縁がありました。「石っこ賢さん」と呼ばれた宮沢賢治です。二人の共通点は、「どこまで、どこまでも」という姿勢、夢を追って転がる石、夢を形にしようとする意志。

「夢」は「憧れ」と言い換えてもいいかもしれません。安三先生は夢見る人であり、憧れる人だった。藤樹に、新島襄に、貧乏教師に、ペトキンが後を託した息子ジョンに、ジャン＝フレデリック・オペリンに、そして何よりイエスに。彼らに憧れて、その愛の生き方を実践した。

憧れは、人に最も大きな力を与えます。憧れるからこそ、無我夢中になれる。けれど今は夢を、憧れを持ちにくい時代かもしれません。だからこそ、私たちは安三先生の精神を引き継ぎたい。無我夢中で今回の舞台を創りながら、私自身が強く感じたことです。

キャストとスタッフには在校生、卒業生、教職員も、オペリン・ドリーマーが集いました。加えて私の敬愛する作曲家、長生淳さんという最大のドリーマーも。

本日は最後まで、夢見る時間をお楽しみいただけますと幸いです。

たとえば学而事人

このたびは桜美林学園創立百周年、まことにおめでとうございます。能祖先生とご縁でこの『合唱物語 石ころの生涯』に関わらせていただきましたこと、とてもありがたく存じます。最初に話をいただいた時は「能祖さんのことだからきつと面白いだろう」というぐらいのところでした。それが実際に「石ころの生涯」を拝読し、その、フィクションでもこうはならないだろうというほどの波瀾万丈な人生に驚かされ、また強く感銘を受けました。人を助けたいという気持ちを強く持っていらして、それを実行にうつす類い稀な行動力もあり、情に篤く、これでもかというような困難を乗り越えてこられた、なんとも偉大な方だったというのがよくわかる……などというのは、いまさら申し上げるまでもないことでした。加えて親しみやすい、かざらぬお人柄だったようで、そこにもとても惹かれました。

こうやって清水先生の足跡にふれられたことだけでも、じつに貴重な機会と感じておりまして、また場面場面でお言葉一たといえば学而事人—がぐと胸に響き、それらの思いを、物語に上乘せしてお届けできるようにと心掛けました。それはささやかなものながら、演奏で大いにふくらませていただくことで、そして朗読・演劇・ダンスなどと寄り添うことで、きっとよく先生を偲ぼせるものとなることでしょう。それが次の百年に向けて踏み出してゆく、後押しの一ひとつとなることを願っております。



長生淳
作曲家

めでたや、めでたや100周年！

桜美林学園、創立100周年、まことにおめでとうございます。

そしてこの100周年を記念して企画された大イベントの一員に加えていただきありがとうございます。私にとっての桜美林学園は、単に高校・大学の8年間の（なぜか大学は5年行きました）学生生活というだけでなく、高校は寮での寮生活から蓄微寮への引越、大学中文科時代では落語研究会に打ち込むあまりの劣等生生活、大学生ながらも甲子園優勝に狂喜乱舞した思い出、色々な貴重な経験を積ませていただきました、まるで宝箱のようなところです。その生活の中では安三先生を怒らせたり、学長室に呼ばれたこともありましたが、けれども大学の卒業式には肩を抱いて一緒に写真に写ってくださったこと、あの笑顔はいまだに忘れることができません。先輩方には落語家になってからも、同窓生として落語会を企画していただいたり、色々とお声をかけていただいて、いつも、私は桜美林学園の子で良かったなあと思っています。こんなに規模や学びの種類が広がって、知らない分野の学部もいっぱいあって、もう私など呼びじゃないなあと思っていたところの100周年企画に、とても嬉しく、光栄です。そしてどんな学園の規模が大きくなっても、時代が変わっても、桜美林に流れる安三スピリットは変わっていないのだなあと思うづくづくと思っています。

本日の、世代を超えた桜美林魂の集大成「合唱物語 石ころの生涯」をどうぞごゆっくりお楽しみくださいませ。



古今亭菊千代
落語家

価値あるものを響かせて

本日は、桜美林学園創立100周年記念公演「合唱物語 石ころの生涯」にお越しくだり、心より歓迎致します。本学園創立者、清水安三先生の生涯を、本日の公演を通してご紹介できることを、本学の芸術教育・研究に携わる者の一人として感謝しております。

「建学の精神」を生きて、ということは、その精神に立脚し教育・研究を行っていく営みです。生徒・学生との言葉のやりとりにおいて、それをどう語るか、私自身日々問われていることなのですが、この作品を通し自分自身のアプローチに変化がありました。それは清水先生ご自身の視点です。清水先生は何を見、どう生きたのか。本日の公演では、その清水先生の世界観・人間観といった価値あるものが、生き生きと現わされると思います。私自身この作品を通し、清水先生を観、聴く、経験をしています。そしてそれは私の中で清水先生を新たにしてくれています。

合唱を担当する私にとって、本日の公演は、マスクを取って行う久しぶりの公演でもあります。コロナ禍において芸術活動も制限を余儀なくされていましたが、とりわけ合唱は厳しい状況の中にあります。本日の合唱団の人数は、この荊冠堂チャペルの舞台を念頭にしたものです。また日本合唱連盟の飛沫試験データ等を参照し歌手のディスタンスを確保しています。

公演をどうぞ最後までお楽しみください。音楽、朗読、演劇、ダンスが織りなす「合唱物語 石ころの生涯」が、清水先生が見つめた「価値あるもの」を響かせていきますように。



植本紀夫
芸術文化学群 音楽専修 教授
指揮者・教会音楽家

愛と希望と夢と信念

桜美林学園創立100周年、まことにおめでとうございます。私は、2005年より桜美林大学で声楽・オペラの指導をさせて頂いております。本日、合唱物語「石ころの生涯」では、マリアを歌わせて頂きます。

能祖先生から初めて台本を頂いた時、直ぐにマリアの歌詞を頂きました。温かくて、優しくそして強い説得力のある歌詞は、すんなりと胸に落ちていきました。そして長生先生の音の息吹によって、清水安三先生の愛と希望と夢と信念を歌声で表現出来るようになり、安三先生の魂が、言葉となり、音楽となり私の心を揺さぶりました。

昨今「芸術」に対する風当たりが強くなっており、新型コロナの影響も重なったため、芸術に肌で触れる機会が減ってきております。今回ご協力頂いております芸術文化学群の先生方は、長年、「芸術」を追求してこられた方々ばかりです。芸術文化学群の持ち味を余すことなく発揮できるのではないかと期待しております。ご米場の皆様とは、同じ時間と空間を共有出来る貴重な時間になることでしょう。

混沌としている現代、「愛と希望と夢と信念」なく、どのようにして生きていければ良いのでしょうか。「愛と希望と夢と信念」は、石ころみたいだ（まだ見ぬ国へ）、（焼け野の園に）、折れは必ず、の曲中でも歌われる重要な歌詞でもあります。

安三先生に、「石ころの生涯、いい公演だったねー」とお褒め頂けるよう、全力で務めさせていただきます。最後までお楽しみ頂けますと幸いです。



小林玲子
芸術文化学群 音楽専修 教授
声楽家・オペラ歌手

CAST

指揮	植木紀夫 音楽専修 教員
演奏	
ピアノ	小早川朗子 音楽専修 教員
パイプオルガン	湊恵子 音楽専修 教員
キャスト	
マリア	小林玲子 音楽専修 教員
ナレーター	古今亭菊千代 文学部 卒業生/落語家
ヤスゾー (第一、二部)	若月大河 演劇・ダンス専修3年
ヤスゾー (第三部)	三村聡 演劇・ダンス専修 教員
清水美穂	鈴木愛実 音楽専修 卒業生
清水郁子	根本佳菜 音楽専修 卒業生
牧野虎次牧師	竹井佑輔 音楽専修 卒業生
天の声 (声)	土橋敏良 大学院 卒業生/キリスト教センター職員/学園チャレン
清水ウタ/女行商人	三村聡 演劇・ダンス専修 教員
中学生/文部省役人	西村颯 演劇・ダンス専修1年
ヴォーリス牧師 (声)	カーター ティモシー 音楽専修 教員
中国人の母	韓丁囃 健康福祉学群3年
船上の引揚者1	木下雅之 リベラルアーツ学群1年
船上の引揚者2	秋田憲伸 リベラルアーツ学群4年
賀川豊彦牧師 (声)	小池一夫 文学部 卒業生/桜美林学園 理事長
文部省課長	和田満 大学院 卒業生/総務部兼総合企画部 職員
黒子	高橋卓臣 演劇・ダンス専修3年
黒子	丹野颯也 演劇・ダンス専修3年

合唱	
ソプラノ	大淵優子 「群読音楽劇 銀河鉄道之夜2022」出演 春日井萌子 演劇・ダンス専修3年 鈴木愛実 音楽専修 卒業生 堤田延子 文学部 卒業生/事業開発部 職員 根本佳菜 音楽専修 卒業生 韓丁囃 健康福祉学群3年 依田通香 音楽専修1年
アルト	荒田幸紀 演劇・ダンス専修4年 歌川大喜 音楽専修1年 大谷亜紀 国際交流センター 職員 小林花葉江 音楽専修2年 中村紗菜 音楽専修 卒業生/学務部 多摩キャンパス事務室 職員 那須準子 「オラトリオ」2010、2011、2012、2013、2014出演
男声	青山史愛 「オラトリオ」2016、2017、2018出演 秋田憲伸 リベラルアーツ学群4年 江口海希 音楽専修 卒業生 木下雅之 リベラルアーツ学群1年 芹野浩三 学務部 東横ひなたやまキャンパス事務室 職員 竹井佑輔 音楽専修 卒業生 西村颯 演劇・ダンス専修1年 長谷川康希 音楽専修2年 堀潔 リベラルアーツ学群 教員
ダンス	新井くらら 演劇・ダンス専修3年 新ヶ江天音 演劇・ダンス専修3年 長谷川海音 演劇・ダンス専修3年 植松真愛 演劇・ダンス専修1年 大戸咲季 演劇・ダンス専修1年 古賀あさひ 演劇・ダンス専修1年

STAFF

脚本・作詞・演出	能祖将夫 演劇・ダンス専修 教員
作曲	長生淳
合唱指導	植木紀夫 音楽専修 教員
稽古ピアノ	小早川朗子 音楽専修 教員
演技指導	三村聡 演劇・ダンス専修 教員
振付	中川絢音 演劇専修 卒業生/水の中めがね
振付助手	山田茉琳 演劇専修 卒業生
舞台監督	田中伸幸 演劇・ダンス専修 教員
照明	芦辺靖 演劇・ダンス専修 教員
音響	齋藤美佐男 演劇・ダンス専修 教員
衣裳	中村洋一
衣裳アシスタント	増田早紀
録音 (声)	城野直樹 ビジュアル・アーツ専修 教員
パネル製作	林秀紀 ビジュアル・アーツ専修 教員
揮毫	「学而事人」清水安三 「工且読書」袁英明 演劇・ダンス専修 教員
衣裳協力	東京衣裳(株)
小道具協力	「チャイニーズリネン」袁英明 演劇・ダンス専修 教員 「ポケットバイブル」佐原光児 芸術文化学群 教員/大学チャレン
学園歌曲	松岡邦忠 音楽専修 教員
譜めくり	橋口菜美 音楽専修 卒業生
楽曲交渉	「Ten Thousand Strong」国際交流センター
写真提供	学園史編さん室
パンフレットデザイン	小西俊也 ビジュアル・アーツ専修 教員
制作	白井美優 演劇専修 卒業生/(有)ゴーチ・ブラザーズ 赤羽ひろみ 演劇専修 卒業生/(有)ゴーチ・ブラザーズ
制作助手	佐藤梨 演劇専修 卒業生
プロデューサー	能祖将夫 演劇・ダンス専修 教員
演出助手	川上日菜乃 演劇・ダンス専修4年
演出部	小澤ひなた 演劇・ダンス専修1年
照明部	浅海菜々子 演劇・ダンス専修4年 飯塚琴音 演劇・ダンス専修4年 萩原穂 演劇・ダンス専修4年 石田さくら 演劇・ダンス専修3年 松本七海 演劇・ダンス専修3年 高野葉月 演劇・ダンス専修2年
音響部	佐藤美咲 演劇・ダンス専修2年
主催	100周年記念事業実行委員会
企画・制作	桜美林大学 芸術文化学群

参考文献	山崎朋子『朝陽門外の虹—崇貞学園の人びと—』岩波書店 2003年 清水安三『石ころの生涯』改訂増補第5版 桜美林学園 2009年 清水安三『希望を失わず』桜美林学園出版会 2020年 桜美林学園チャレンス会『無我夢中 桜美林学園の創立者・清水安三の信仰と実践』新教出版社 2022年
-------------	--

※「演劇・ダンス専修」「音楽専修」「ビジュアルアーツ専修」は芸術文化学群の専修

👤 BIOGRAPHY

第一部 起きろ石ころ

- 1891 滋賀県高島郡新儀村(現・高島市新旭町)に生まれる(6月1日)①
- 1896 父・弥七永眠
- 1906 滋賀県立第二中学校入学。W.M.ヴォーリズと出会う(安三14歳)②
- 1908 日本組合大津基督教会で白石矢一郎牧師より受洗(安三17歳)
- 1910 同志社神学校(同志社大学神学部)入学(安三18歳)③
- 1914 唐招提寺を訪問し中国への恩返しを決意する
- 1915 京都平安教会でベトキン宣教師殉教の話聞いてさらに中国伝道への決意を固める
- 1917 大阪で中国行きの宣教師として送別会(5月29日)奉天(現・瀋陽)に到着(6月5日)④



①滋賀県高島郡の生家



②ヴォーリズ牧師



③新島襄(同志社史料センター提供)



④中国に渡った日本人宣教師第一号

第二部 崇貞学園物語

- 1918 横田美穂と結婚(安三26歳)⑤
- 1919 北京に移り、中国語の学習に励む
- 1920 中国華北地方での大旱害に伴う飢饉の深刻化⑥
- 1921 朝陽門外に崇貞工読女学校設立(安三29歳)⑦⑧
長男・泰(たい)誕生
- 1922 長女・星子/星(ほしこ / ほし)誕生
- 1923 大阪教会で按手を受けて正教師(牧師)となる(11月)
- 1924 オーバリン大学留学(9月)⑨
- 1926 オーバリン大学卒業(B.D.学位取得)、一時帰国
- 1927 「基督教世界」誌編集主任 次男・畏三(いぞう)誕生
- 1928 同志社大学講師として中国政治思想史、東洋史、中国史、中学哲学史を担当(1932年に辞任)
- 1932 近江兄弟社北京駐在員
- 1933 清水美穂結婚で永眠(美穂38歳)
- 1935 小泉郁子と結婚(安三45歳、郁子43歳)⑩
崇貞学園と改称
- 1937 北京を戦禍から守るため、日中両指令官にかけ合う
- 1939 社会事業「愛隣館」開設、館長として就任 「朝陽門外」朝日新聞社より出版
- 1940 アメリカでの崇貞学園募金講演旅行から北京帰省時に、北京在住の日本軍憲兵隊よりドル買いの疑いで取り調べを受ける
母・清水ウタ永眠94歳、臨終の際に洗礼を受ける
玉音放送後(8月15日)、韓国朝鮮人生徒たちに日本の罪を謝罪し朝鮮国の独立を祝う
北京市政府教育局により崇貞学園接收される(11月)(安三54歳)



⑤清水美穂(朝日新聞社「朝陽門外」グラビアから)



⑥馬車を運んで飢饉の子供たちを救いに行く安三たち



⑦北京朝陽門外の崇貞学園(1930年頃)



⑧刺繍をする少女たち



⑨ジャン＝フレデリック・オベリン



⑩清水郁子

第三部 桜美林学園物語

- 1946 米軍の上陸用軍艦にて中国を離れる(3月16日)
途中、生きる希望を失う
早朝東京着、焼跡で祈る(3月22日)
賀川豊彦氏と神田小川町交差点付近の路上で邂逅(3月23日)⑪
瀬野辺に学校設立を決意(3月24日)
桜美林学園開校式(5月5日)⑫⑬
- 1947 桜美林中学校設立認可
- 1948 桜美林高等学校設立認可 桜美林教会(復活の丘教会)設立
- 1950 桜美林短期大学英文科設立認可
- 1951 桜美林学園募金キャンペーンのため北米南米旅行⑭
- 1955 短期大学に家政科設置
- 1959 荊冠堂チャペル完成⑮
- 1964 清水郁子脳溢血で永眠(郁子71歳)
- 1966 桜美林大学文学部(英文科、中文科)設立認可⑯
- 1968 大学経済学部(経済学科)設立認可
米国オーバリン大学より名誉博士号授与
- 1972 大学経済学部にも商学科を設置
- 1975 同志社大学より名誉神学博士号授与(安三83歳)
- 1976 桜美林高校野球部夏の甲子園大会に優勝⑰
- 1977 「石ころの生涯」初版本をキリスト新聞社より出版⑱
財団法人善行会より金賞受賞
- 1979 キリスト教文化協会よりキリスト教功労賞受賞
- 1985 紺綬褒章受章⑲
- 1988 心不全のため96歳で永眠⑳



⑪賀川豊彦牧師



⑫設立当初の桜美林高等女学校



⑬瀬野辺に行く引揚げ客の安三と郁子(背景は当時の本造校舎)



⑭寄付募集の国内行脚姿(販売用著書を背負って)



⑮荊冠堂チャペル完成



⑯「石ころの生涯」表紙



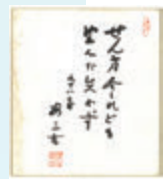
⑰桜美林大学一期生学生募集ポスター



⑱桜美林高等学校野球部夏の甲子園大会で優勝



⑲紺綬褒章受賞(94歳)



⑳百天教日前の絶筆「せん方くれども猛みをつわす 98歳安三書」

NUMBER 作詞：能祖将夫 作曲：長生淳

第一部 起きろ石ころ

- M1 とどまるべきぞ桜の園に 短歌 清水安三
- M2 石ころみたいに～この畦道に～
- M3 劣等生の石ころ
- M4 救いを求めて
- M5 貧乏牧師
- M6 Doshisha Collegge Song (録音) 作詞 W.M. Vories 作曲 Carl Wilhelm
- M7 石ころみたいに～まだ見ぬ国へ～

第二部 崇貞学園物語

- M8 雨は降らないけれど
- M9 讃美歌494番 (1954年版)「わが行く道いついかに」
作詞 Martha Anna Cook 作曲 Phillip Phillips
訳『讃美歌』(1903年版) 讃美歌委員会
- M10 Ten Thousand Strong (オペリンカレッジソング) (録音)
作詞・作曲 Jason Noble Pierce
- M11 学而事人

第三部 桜美林学園物語

- M12 ウクライナは滅びず (オルガンのみ) 作曲 Mykhailo Verbytsky
- M13 石ころみたいに～焼け野の国へ～
- M14 ふちのべ
- M15 海ゆかば (ピアノのみ) 作曲 信時潔
- M16 桜の美しい林と書いて
- M17 貧乏牧師
- M18 望み失わず
- M19 桜美林学園歌 作詞 清水安三 作曲 小川留三
- M20 とどまるべきぞ桜の園に 短歌 清水安三
- M21 祈ればかならず

音源提供

Doshisha College Song [同志社のうた] (株) 同志社エンタープライズ
日本音楽著作権協会 (出) 許諾第T-110359号
Ten Thousand Strong Oberlin College Archives

LYRICS

とどまるべきぞ桜の園に

作詞 清水安三 (短歌より) 作曲 長生淳

今一度 生れ来たらば 今一度
同じ生涯 生きむとぞ思う

わが霊よ 天に帰らずとこしえに
とどまるべきぞ 桜の園に
とどまるべきぞ 桜の園に
桜の園に

貧乏牧師

作詞 能祖将夫 作曲 長生淳

貧乏 貧乏牧師
なってくれよう
なんて豊かな
貧乏牧師

学而事人

作詞 能祖将夫 作曲 長生淳

Learning 学而
and Labor 事人

ここに知識があるのなら
学んで自分のものにして
そしてつかえよう
人に あなたに

ここに技術があるのなら
修めて自分の身につけて
そしてつかえよう
人に みんなに

Learning
たとえばそれは？

畑にクワを入れること
種を蒔き
麦を米を野菜を育てること
知識も技術も

and Labor
たとえばそれは？

とれた麦を
米を野菜を
みんなと一緒に食べること
知識も技術も

Learning and Labor
たとえばそれは？

砂漠の中に泉があって
泉のまわりに緑があって
学んで人につかえれば
緑はどんどん広がってゆく
砂漠のような社会でも？
砂漠のような社会でも

Learning and Labor
学んで人につかえれば
サンキュー

シェシェ
ありがとう
広がってゆく
愛のオアシスが
人は人の役に立つとき
一番の幸せになれるから

Learning 学ぼう
and Labor そしてつかえよう
隣のあなたに

Learning and Labor 学而事人
一番の幸せのため



清水安三先生、88歳当時の自画像

桜の美しい林と書いて

作詞 能祖將夫 作曲 長生淳

さくら さくら

桜の美しい林と書いて

桜美林

つどえここに

夢を見る者

さくら

桜の花は散るけれど

心に咲かす花の心は

散らずにずっと見つめてる

そそげよ 愛よ

ささげよう 愛を

悲しみの風が吹いても

苦しみの嵐の中でも

さくら

桜は咲かせる 愛の花

きつとあなたもここで花咲く

さくら さくら

桜の美しい林と書いて

桜美林

学べここで

夢を追う者

さくら

桜の花は散るけれど

心に咲いた花の心は

散らずに天を仰いでる

そそげよ 愛よ

ささげよう 愛を

望み失わず

作詞 能祖將夫 作曲 長生淳

光うばわれ 力も尽きて

それでも奏でる豎琴は

ただ一本の糸しかないのに

乙女よ あなたは

弾くのをやめない

せんかた

せんかた尽きてしまっても

闇に閉ざされ あしたも見えず

それでも抱えた豎琴は

ただ一本の糸しかないのに

乙女よ あなたは

聴くのをやめない

せんかた

せんかた尽きてしまっても

失わず

望み失わず

希望の音を奏でよう

それでも奏でる豎琴は

ただ一本の糸しなくても

乙女よ わたしは わたしは

失わず

望み失わず

希望の音を奏でよう



ワッツ「希望」(清水安三顕正会提供)

祈ればかならず

作詞 能祖將夫 作曲 長生淳

夢を見た

あこがれを追って

形にした

大きな大きな夢を語った

ホラ吹きと呼ばれても

大きな大きな幻を追って

花を咲かせる

あなたが求めたあこがれは

愛と希望と夢と信念

あなたが咲かせるその花は

自由 平等 正義と平和

奇跡を信じて

あなたは祈った

祈りなきところに奇跡なし

祈ればかならず

祈ればかなう

祈ればかならず

祈ればかなう

祈ればかなう

祈ればかなう

今日の日の

悲しみも苦しみも

明日の日の

喜びの種となって

大きく大きく育ちますように

今は知らずとも 後に知るから

今は知らずとも 後に知るから

今日の日の

この人生を清く正しく美しく

となりのあなたに みんなのために

感謝と祈りを

となりのあなたに みんなのために

奇跡を信じて

あなたは祈った

祈りなきところに奇跡なし

祈ればかならず

祈ればかなう

祈ればかならず

祈ればかなう

祈ればかなう

あなたが求めたあこがれは

愛と希望と夢と信念

あなたが咲かせるその花は

自由 平等 正義と平和

せんかた尽くれども望み失わず

神もし用いたもうものならば

石ころも

神の子となる

アーメン